

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスらじびあ
------	----------------

公表日 令和8年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員と活動スペースに関しては法定基準に則り運営をしています。 ・活動プログラムや活動形態によって環境調整をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の外部資源等活用しながら多様な活動スペースの確保や活動プログラムの工夫を今後もより一層行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法令基準を満たしています。基準人員に加え、児童指導員、作業療法士、指導員を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でそれぞれの専門的知識やスキルを共有し、安定した質の高いサービスをご提供できるように今後もより研鑽を積んでいきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・平屋の一軒家を使用しているため、全ての箇所がバリアフリーではありません。階段や玄関の段差等は環境に応じた振る舞いができるように、リハビリの要素として活用しています。 ・特性に応じて対応する職員数を調整し、安全管理をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に配慮した環境調整を今後もより一層工夫して支援に取り組みます。。

備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・感染症の流行についての情報収集を細やかに行い、毎日の清掃、消毒、空間除菌、換気等、子どもたちが安心して通所できる環境作りをしています。 ・お子様の特性に合ったもの、個性を伸ばすもの、苦手を克服するもの等、個別や集団の課題に対応する教材や環境等を工夫して配置しています。	・インフルエンザ等の感染症がまだまだ流行していますので、職員全員で徹底した感染症対策を今後も図っていきます。また、お子様の健康観察、職員の健康管理に関しても日々細やかに観察、対応をしていますので、今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・体調不良、気持ちを落ち着けたい場面、プログラム内容、子どもたちの要望等に対応するための個別のスペースをご用意しています。	・子どもたちの様子を見ながら、今後も細やかに活動環境についての調整をしていきます。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・職員全員で子どもたちの様子を細やかに観察し、都度ミーティングを設定して振り返りや支援内容の調整について検討しています。	・職員同士で密に連携し、より迅速に業務改善をしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者様からのアンケート結果は全職員間で共有し、改善案について全員で検討しています。 ・保護者様には事業所の取り組みについて、HP以外の紙ツールでもお伝えしています。	・HPに毎年アンケート結果について掲載し、らじびあの取り組みについて周知していますが、保護者様の中にはHPを見ていない方もいらっしゃるなので、必要に応じて紙ツールで業務改善についての内容を周知していきます。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管に対して、また職員同士で気軽に相談できる関係性ができているので職員一人ひとりの意見をくみ上げて共有し、業務改善をしています。 ・全てのスタッフが児発管と相談の元、自ら議題を提案してミーティングを設定できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が発言しやすい職場環境を整え、ひとり一人が専門職としての本領を発揮出来るよう、今後も職場環境を整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では未実施です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法制度等の変更があった場合等、必要に応じて第三者評価の活用も検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・危機防災、苦情相談、不審者防犯、感染症、保健衛生、緊急事故、送迎、虐待、身体拘束、自然災害、個別支援計画書、広報、連絡帳、面談について内部研修を実施しています。 ・子どもたちと一緒に避難訓練や防犯訓練を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より実践的で即応性のある研修を実施し、子どもたちの日々の支援に即時取り入れていきます。 ・全職員の資質向上、知識技能の研鑽をし、職員全体の支援の質の向上を目指します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに掲載しています。 ・HPに掲載されている旨は保護者様へお便りで全員にお知らせしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに掲載されている支援プログラムに則り、子どもたちの特性、成長に合わせて内容を工夫していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや保護者様との面談等を通してニーズを分析し、計画書を作成しています。 ・相談支援専門員等各関係機関と連携し、情報共有をして計画書を作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの特性や個々の課題を把握、分析し、今後もより一層密に保護者様と情報共有を重ね、一緒に支援内容を考えていきます。

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのご利用者様の個別支援計画書について、その都度ミーティングを開き、支援方針や支援内容について職員間で共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容について全職員が情報共有し、5領域の内容についてより包括的に支援ができるよう、今後も工夫して計画書を作成していきます。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の内容について具体的な行動レベルまで職員ミーティングで落とし込みをし、実際に何をどのようにやるのかを職員全員で共有しています。 ・児童発達支援管理責任者が日々の支援の現場で職員の支援の様子をチェックし、職員指導をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容について「何を、どのように」やるかを全職員が明確に理解をし、実際に支援の場で実践できるよう、一丸となって取り組んでいきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で統一したアセスメントツールを活用しています。 ・各関係機関等のアセスメント結果も共有して頂いています。 ・子どもたちの日々の成長や変化について記録に残し、職員間で密に共有をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールに関しては、現在使用している書式のものに継続して使用することで都度見直し、必要に応じて修正をしながら、よりニーズの分析が細やかにできる内容になるよう工夫していきます。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに示してある内容を参考にして実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ガイドライン」の方針や内容を理解し、具体的支援の方法等に落とし込み、個別計画書に取り入れています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ミーティングを開き、活動プログラムの立案、調整等をしています。職員の専門性や経験等を発揮しつつ、複数の意見を取り入れながらチームで進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの専門的視点からより効果的なプログラム立案ができるよう、職員一人ひとりの意見を今後も大切にしていきます。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・子どもたちの成長や特性に合わせて、活動プログラムの内容や形態を柔軟に調整しています。	・以前好評だった活動プログラムをもう一度やって欲しいという子どもたちや保護者様からのご要望が多く、それにお応えしていくとプログラム内容に偏りがでる可能性があるため、バランスを考えながらプログラムを構成をしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・全体集団、小集団、マンツーマン、個別等、子どもたちの個々の特性や活動内容に合わせて様々な活動形態でプログラムに取り組んでいます。	・今後も活動プログラムや子どもたちの力の伸長により効果的な活動形態をその都度選択し、工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・基本的には朝の時間に打ち合わせで情報共有ができるよう心掛けています。お仕事をしている保護者様が多いため、朝の送迎では〇時までに迎えに来て欲しいとご要望を頂くことも多く、全員で朝に打ち合わせができない場合もあります。その際は職員ノートで情報共有をしています。すぐに共有が必要な情報に関しては口頭で個別伝達をしています。	・より確実に情報伝達をし、日々の支援に生かしていくために、職員間で相互確認をする等、情報共有の徹底に努めていきます。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスをご利用頂いている保護者様が多いこと、また広面、山王等遠方のお家もあることから、送迎からの帰社時刻が終業時刻を過ぎる場合があり、全員での打ち合わせができない場合があります。その際は職員ノートで情報共有をしています。必要に応じて翌日の朝の打ち合わせや個別伝達で情報共有をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より確実に情報伝達をし、日々の支援に生かしていくために、職員間で相互確認をする等、情報共有の徹底に努めています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用した子どもたち全員の支援記録を作成し、保管しています。 ・子どもたちの成長や課題について各専門的視点から多面的に記録をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの特性や課題を全職員が把握し、その達成度や新たな課題の表出等に応じた内容を記録するよう心がけています。
23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として6カ月に1回モニタリングを実施し、定期的に個別支援計画の見直しをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと個別面談をして要望を直接聞き取りし、保護者様とは面談やお電話等でご要望をお聞きしています。より一層細やかな情報共有ができるよう心がけます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」について複数の内容を取り入れた包括的なプログラムを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいプログラムの開発に挑戦します。また、既存の有効なプログラムはさらにブラッシュアップしていきます。

25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自分の意見や気持ちの言語化、話し合い、発表等、主体的に自己表現、自己決定する活動をプログラムの主軸にしています。	・楽しくプログラム活動に参加する中で主体的に自己選択、自己決定する力を身に付けられるよう今後も支援をしていきます。・自己選択、自己決定する時間や環境をしっかり保証し、安心して決断できる環境作りをします。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・職員指導のために現場に入っている児童発達管理責任者、必要に応じて主担当職員が会議に出席しています。	・担当者会議に参加する前に職員間での情報共有をしています。今度もより新鮮で正確な情報を把握し、子どもたちのリアルタイムの情報を持って会議に参加します。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて各連携機関と連携して情報共有をしています。	・会議への参加等各関係機関と連携しながら、支援方針や支援内容の調整について今後も進めていきたいと思えます。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・保護者様を通じて学校との情報共有や連絡調整を行っています。 ・必要に応じて直接学校と情報共有や連絡調整をしています。 ・個別支援計画書の共有や送迎時の引き渡し時等に直接情報共有をしています。	・学校の情報についてより多くの情報を共有していただけるよう、積極的に保護者様に働きかけをしています。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・今年度は子どもたちや保護者様からご要望はありませんでした。	・今後、子どもたちや保護者様からご要望があれば、積極的に情報提供や相互理解に努めていきます。

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・今年度は子どもたちや保護者様からご要望はありませんでした。	・今後、子どもたちや保護者様からご要望があれば、積極的に情報提供や相互理解に努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・今年度は該当する事例はありませんでした。	・必要に応じて児童発達センターとも連携を図り、機会を設けていきたいと思いをします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・広い学区範囲から子どもたちが通所していますので、らじびあの事業所内で他の地域の子どもの交流を深めています。	・公園や地域施設で活動した際、地域の児童らと交流する機会を必要に応じて持ちたいと思いをします。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	現在、参加はできておりません。	・必要に応じて参加をしていきたいと思いをします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時や連絡帳での報告、活動時の写真や広報、電話面談や対面での支援面談等で子どもたちの状況や課題等についての相互理解を深めています。	・様々なツールや機会を今後も発掘し、より細やかに保護者様と共通理解ができるよう努めていきたいと思いをします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・お子様の特性や課題が個別のものなので、全体共通のプログラムはございません。子どもたちや保護者様のお悩みごとに応じて、ご家庭での特性に応じた関わり方、学校との関わり方等、その都度個別で提案、助言をさせて頂いております。	・ペアレント・トレーニングの文言自体が保護者たちの中であまり周知されていないようなので、らじびあでは困りごとに対して個別でペアレント・トレーニングを実施する旨を周知します。 ・感染症対策を考慮しながら、グループ支援面談や参観等の開催の検討もしていますが、お仕事をされている保護者様が多く、現状では個別の対応をさせて頂いております。今後ご要望等あれば検討していきたいと思いをします。

36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明をさせて頂いております。利用者負担については内容がかなり煩雑ではありますが、なるべく分かりやすく伝えられるよう視覚支援や補助資料を作成して工夫しています。	・契約時は様々な書類等の説明があり、限られた時間の中ではありますが、継続して分かりやすい説明を心がけていきたいと思えます。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者様との支援面談、ご要望アンケート、お子様との個別面談等でご要望を伺っています。	・子どもたちのご要望を第一に聞き取りをし、保護者様とのずれが生じている場合はより良い支援内容について相互理解ができるよう尽力します。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・計画書の内容を保護者様にご説明し、ご同意頂いた場合にはご署名を頂いております。	・子どもたちや保護者様のニーズに即した内容にするとともに、分かりやすい文章表現をすることを今後も心がけていきます。 ・説明する際により分かりやすいように補助説明や具体例を提示しながら説明をします。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡帳、送迎時、支援面談、電話等でたくさんの相談を頂いております。必要に応じて職員ミーティングを開き、複数の職員で検討し、具体的な改善案について書面、口頭で助言をさせて頂いております。	・今後も細やかに迅速に対応をしていきます。不安やお悩みごと等ございましたら、遠慮なくお声がけいただけたらと思います。

保護者への説明等

40	<p>父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。</p>	1	5	<p>・現状では父母の会はございません。</p>	<p>・お仕事をしている保護者様が多く、保護者会が平日の実施になるということから、現状では結成を望まない、負担に感じるという保護者様が多くいらっしゃいます。今後、保護者様からのご要望があれば検討させていただきます。</p>
41	<p>こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。</p>	6	0	<p>・契約時に苦情相談対応窓口について説明をしています。また、マニュアルを整備し、対応できるようにしています。</p> <p>・苦情相談の研修を実施し、苦情対応について研鑽を積んでいます。</p>	<p>・今後も継続し、面談や電話等で迅速に対応していきたいと思います。</p>
42	<p>定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。</p>	6	0	<p>・連絡帳でその都度情報発信しています。 ・毎月広報を発行しています。また、長期休業の際にはイベントカレンダーという全体集団プログラムの実施予定表を配布しています。</p>	<p>・連絡帳で今後も細やかに迅速に情報発信をしていきたいと思います。</p> <p>・広報やイベントカレンダーは子どもたちや保護者様に好評で楽しみにしているお声を多く頂いております。今後も継続していきたいと思います。</p>
43	<p>個人情報の取扱いに十分留意しているか。</p>	6	0	<p>・契約時に保護者さまへは個人情報の取り扱いについて説明し、同意書にてご同意を頂いております。また、スタッフが個人情報に関する資料等を社外に持ち出すことを禁止しています。</p>	<p>・個人情報の取り扱いには最善の注意をしつつ、外部の意見も聞きながら、適切な取り扱いをしていきたいと思っています。</p>

44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや保護者様の特性等に合わせて、意思疎通しやすい方法を検討し、工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意思疎通や情報伝達の精度をより上げるため、様々なツールを用いるとともに、視覚支援、聴覚支援等を行い、分かりやすい表現を心がけていきたいと思ひます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医ケアのお子様もいらっしゃるので、感染症等を考慮すると不特定多数の地域の皆様をご招待する行事等は難しいのではないかと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや保護者様のご要望等がありましたら検討していきたいと思ひます。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと職員で地震や火事等を想定した避難訓練や不審者の来所を想定した防犯訓練を実施しています。 ・危機防災、不審者防犯、感染症、保健衛生、緊急事故送迎、苦情相談、虐待身体拘束等のマニュアルを策定しています。 ・マニュアルの膨大な情報量の中でも特に重要と考えることに関しては、ピックアップをして連絡帳や広報で共有をさせて頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは完備していますが、内容が膨大なので、なかなか隅々までの周知は難しいと感じています。らじぴあ内で閲覧することはできますので、閲覧のご希望があればお声がけいただけたらと思ひます。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、感染症のBCPを策定しています。 ・自然災害を想定した避難訓練にお子様と一緒に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、感染症のBCPについて職員研修を実施し、今後も周知徹底していきまひます。 ・日々の感染症対策を徹底しつつ、継続して実施していきたいと思ひます。 ・想定している自然災害やそれに付随する事件事故等の想定を増やし、対応できるように準備をしていきたいと思ひます。

非常時等の対応

48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に保護者様からご記入いただく資料の中で確認をさせて頂いています。 ・らじびあには看護師や医師が常駐していませんので、服薬等の医療行為に充当する支援は行っておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬の支援をすることができないので、できるだけ朝、夜等らじびあのご利用時間以外の服薬になるよう主治医にご相談頂けたらと思います。また、上記内容については連絡帳、広報等で周知はさせて頂いておりますが、より今後も継続して周知していきたいと思っております。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント等で保護者様より情報提供していただいております。 ・調理活動プログラムでは事前にメニューを保護者様にお知らせをして確認をしていただいております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様との情報共有を徹底し、必要に応じて医師の指示も仰ぎながら今後も対応させて頂きます。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や訓練については年間計画を作成し、計画的に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画、動態、振り返りの記録を徹底し、今後も様々なシチュエーションを想定してブラッシュアップをしていきます。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、広報、送迎時に保護者様に周知させて頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々なツールや機会を通して、取組みの内容についてお伝えしていきたいと思っております。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例記録を作成して事業所内で共有し、再発防止に努めております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止のための具体的な仕組み作りを今後もしていきたいと思っております。

53	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。</p>	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に対する研修を実施し、マニュアルの確認や事例検討を行っています。 ・時事問題やニュースなどについて職員ミーティングで取り上げ、事例検討をする等、学びを深めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員へのマニュアルの周知徹底をし、研修やミーティングの中でより学びを深めていきたいと思えます。
54	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。</p>	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束排除についての研修を実施しています。 ・利用している子どもたちの中に該当者はおりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者はおりませんが、個別支援計画書の中に「どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて」の記載を検討したいと思います。